

## 第17回 Pitch to the Minister懇談会“HIRAI Pitch” 議事概要

### 1. 開催日時・出席者等

- 日時：平成30年12月14日（金）13：00～14：00
- 場所：中央合同庁舎8号館10階 平井国務大臣室
- Pitchテーマ：IoT/宇宙技術で目指す水産養殖の革新
- 招へい者：藤原 謙 ウミトロン株式会社 代表取締役
- 出席者：平井国務大臣、左藤副大臣、幸田内閣府審議官、高田宇宙開発戦略推進事務局長、住田知的財産戦略推進事務局長、三輪CIO、新成副CIO、高倉参事官（宇宙）、森参事官（宇宙）、八山参事官（IT）、堀内参事官（科技）、寺井秘書官、西山秘書官、柴山秘書官

### 2. 藤原代表取締役からの説明

- 水産養殖の拡大余地はまだ残されており、現在の水産物消費量の100倍を生産できる可能性がある。
  
- 生産現場で本当に役に立つものを提供するため、生産現場での課題の洗い出しを行った。その結果、増加する給餌コストに対する悩みが非常に多いことがわかり、生簀内のセンサーデータや人工衛星による海洋データを活用し、魚群行動と海洋環境データ分析による給餌の最適化を行う水産養殖向けのデータプラットフォームを構築した。
  
- 衛星データ事業は、今後データ販売から産業分野別のサービス化が進んでいくものと思われる。

### 3. 主な質疑応答・議論

- 養殖対象の付加価値を高めるような給餌手法の研究開発が今後発展していくのではないかと、との意見があった。
  
- 得られるデータをどう使うかではなく、現場が何に困っているか、それを解決するためにはどのようなアプローチが必要か、ということを考えていくことが肝要である、との意見があった。
  
- 赤潮の予測について、衛星データから得られた海洋の色を判別することで、プランクトン濃度がある程度わかるということだが、海表面だけでなく、より深い位置のデータやプランクトンの種類のデータ等も合わせ、今までになかった広域的なデータが取れるようになってくれば、利用の場がより広がるのではないかと、との意見があった。

（了）

（速報のため事後修正の可能性あり）